

日语表达技巧

如何说日语

王秀文 胡孟圣 编译

书馆

大连出版社

如何说日语

王秀文 胡孟圣 编译

大连出版社

如何说日语

大连出版社出版

(大连市西岗区长白街12号 邮政编码 116011)

大连威尼广告公司照排 新华书店发行

大连印刷工业总厂印刷

开本:787×1092毫米 1/32 字数:150千字 印张:9

印数:1—10 000册

1998年3月第1版

1998年3月第1次印刷

责任编辑:高素珍

责任校对:孟欣

封面设计:张波

版式设计:高树

定价 12.00 元

前 言

本书编译自日本著名语言学家、日本国立国语研究所所长水谷修教授及其夫人水谷信子教授共同编著的《Nihongo Notes1》和《Nihongo Notes2》，共 140 篇。《Nihongo Notes》系作者自 1976 年 8 月 1 日开始用英文在《The Japan Times》上连载的专栏作品。连载结束又以 70 篇为一个单元，分编为 8 册陆续出版发行。该作品自发表以来在日本国内外获得了高度评价，被誉为“为外国人解答日语问题的良师益友”，于 1986 年荣获国际出版文化奖。本书经编译成西班牙文、法文、泰文和朝鲜文等出版发行。

语言是一种文化现象，不同民族的文化反映在不同民族的语言之中。生活在不同文化环境中的两个人在进行语言交际时，往往习惯于用本民族的文化心理去理解他民族的语言现象，这就难免出现彼此不大理解，甚至发生误解和曲解的现象。本书的成功之处，在于作者紧紧抓住了外国人在使用日语进行交际时容易出现问题的语言现象，并通过设定语言环境的手法，交待日语与日本人、日本社会和文化的关系及其特点，进而为外国人解答在日语交际中遇到的疑难点，排除语言

交际中所产生的障碍。可以说,书中提出的语言现象是浅显的,然而作者的意图不在于解释语言本身,而是从交际的角度为我们展示出一幅幅生动的语言与文化交融的画面,并提供了一把把有效的钥匙解决运用日语时遇到的疑难问题。

书中的部分内容,自1984年以来曾陆续在《日语知识》、《日语学习》专业刊物上刊载,深受广大日语学习者的欢迎。对于多年来杂志编辑部同志给予的支持和广大读者给予的厚爱,在此一并表示感谢。

此编译本为原作两册的合一,故将原作目录做了重新编排,改以日语五十音为序。另外,为了方便读者阅读,译者为原文中的部分汉字加注了读音,并为部分日文例句添加了汉语译文。

由于译者水平所限,难免有欠妥或谬误之处,诚望广大读者赐予批评指正。

编译者

一九九八年新春·于大连

目 录

1.	ああ、あれですか	1
2.	ああ、そうか……そうですか	3
3.	相づち.....	5
4.	相づちの打ちかた.....	7
5.	赤ん坊に泣かれた.....	9
6.	あけまして、おめでとうございます.....	11
7.	暑くなったんですね	13
8.	あとでけっこうですから	15
9.	あなた	17
10.	あのう.....	19
11.	ありがとうございました.....	21
12.	いいえ.....	23
13.	いいえ、ほんのすこしで.....	25
14.	いいにくいんですが.....	27
15.	いかがですか.....	29
16.	いくらですか.....	31
17.	いただきます.....	33
18.	いちおうお預かりします.....	35
19.	いつでもいいです.....	37
20.	行って(い)らっしゃい	39

21.	勸納先生日記(1)	41
22.	いつもにこにこしています.....	43
23.	うちはもっとひどいんですよ.....	45
24.	ええ、本日は.....	47
25.	ええ、まあ、なんとか.....	49
26.	おありですか.....	51
27.	おいしいですね、このコーヒー	53
28.	おいしそうですね.....	55
29.	お医者さんのおかげで.....	57
30.	おいておいてください.....	59
31.	勸納先生日記(2)	61
32.	おかげさまで.....	63
33.	おきくくくくく	65
34.	おくにはきくくく か.....	67
35.	おさびい ね.....	69
36.	おじやましまが	71
37.	おたがいさまです.....	73
38.	お茶がはいりましたけど.....	75
39.	お茶でも飲みませんか.....	77
40.	お茶をどうぞ.....	79
41.	勸納先生日記(3)	81
42.	お疲れさまでした.....	82
43.	おねえさん.....	84
44.	お願いします.....	86
45.	お持ちしましょう	88
46.	おわすれものがないように.....	90

47.	女の人……………	92
48.	女らしい……………	94
49.	帰ったらすぐ電話します……………	96
50.	帰ってください……………	98
51.	勸納先生日記(4)……………	100
52.	きょうは金曜日でしたね……………	102
53.	ぐらい,ほど,ばかり……………	104
54.	くるといいました……………	106
55.	結婚することになりました……………	108
56.	ごくろうさま……………	110
57.	ここで止めてください……………	112
58.	こちらこそ……………	114
59.	こまったな……………	116
60.	ごめんなさい……………	118
61.	勸納先生日記(5)……………	120
62.	こわい……………	122
63.	こわしました……………	124
64.	こんなことをいってはなんですが……………	126
65.	こんにちは……………	128
66.	さあ……………	130
67.	さっそくですが……………	132
68.	さようなら……………	134
69.	30分しかありませんから……………	136
70.	さんねんですね……………	138
71.	勸納先生日記(6)……………	140
72.	しかし……………	142

73.	実は……	144
74.	失礼します	146
75.	じゃ……	148
76.	社長はおりません	150
77.	主人がお世話になっております	152
78.	主人＝囚人？	154
79.	知りません	156
80.	死んでいます	158
81.	勒纳先生日記(7)……	159
82.	すこし、つめてくださいませんか……	161
83.	すみません	163
84.	先日はごちそうさまでした	165
85.	そういうわけですから	167
86.	そうですね	169
87.	そうですね　そうですよ	171
88.	それにしても	173
89.	それはですね……	175
90.	そんなことをいうもんじゃありません	177
91.	勒纳先生日記(8)……	179
92.	たいへんけっこうだと思います	181
93.	たいへんですね	183
94.	だって……	185
95.	たのしい人	187
96.	ちょっと……	189
97.	ちょっとお寺へいつてきます	191
98.	ちょっとそのへんまできました	193

99.	ちょっとむりですわ	195
100.	ちょっと郵便局へいってきます	197
101.	勸納先生日記(9)	199
102.	で、きょうは	201
103.	できるかしら	203
104.	というと	205
105.	どうせ、わたしは	207
106.	どうぞよい年を	209
107.	どうも	211
108.	どちらへ?	213
109.	なるほど	215
110.	なんといいですか	217
111.	勸納先生日記(10)	219
112.	にいさんとおねえさん	221
113.	日光へ行きたいです	223
114.	日本語がおじょうずですね	225
115.	飲みたいですか	227
116.	はい、おりますけど	229
117.	はい、おりません	231
118.	はじめまして	233
119.	ひとやまください	235
120.	ぶらぶらしていました	237
121.	勸納先生日記(11)	239
122.	勉強になりました	241
123.	ミスターうっかり	243
124.	もういちどいってください	245

125.	もう帰らなくちゃ.....	247
126.	もうしわけありません.....	248
127.	もうしわけありませんが,あのう.....	250
128.	もうそろそろでかけないと.....	252
129.	持ってきます.....	254
130.	やすむわけにはいかない.....	256
131.	やせる人.....	258
132.	やっぱり.....	260
133.	吉田さんがおしえてくれました.....	262
134.	吉田さんがくれたんです.....	264
135.	読もうと思います.....	266
136.	ライシャワさん.....	268
137.	来年がよい年でありますように.....	270
138.	わかりましたか.....	272
139.	わたしなんか.....	274
140.	わたしもそろそろ五十ですから.....	276

1 ああ、あれですか

一天下午，吉田小姐来到勒纳先生身边，告诉他大家打算去郊游，想邀他也一起去。当吉田小姐介绍日程安排时，高田先生从旁边走过，问他们在谈论什么。吉田小姐回答说：「あれです」。于是，高田先生说：「ああ、あれですか」。奇怪的是，吉田小姐连一个字也没提到关于郊游的事，他是怎么明白的呢？

「これ」、「それ」、「あれ」、「どれ」，用来指说话人想说的事情。对此，多数教材作如下解释：「これ」用于指离说话人近的事物；「それ」用于指离听话人近的事物；「あれ」用于指离说话人和听话人都远的事物。就空间事物来说，这种解释是正确的。然而我们不能忽略的是，围绕着所指事物的说话人与听话人之间的人际关系比说话人与其所指事物之间的物理性距离关系更为重要。比方说，使用「あれ」是以说话人和听话人对话题具有共同认识为前提的，所以，当指听话人不知道的事物时，不能使用「あれ」，而要使用「それ」。

对话题具有共同认识，不仅限于肉眼能够看到的事物。当室外有什么奇怪的响动时，人们习惯于如此询问同室的人：「あれは何ですか」。这是因为自己和对方都听到了那个声

响,获得了共同知觉。另外,这种知觉也不一定必须亲身体验才获得。例如,蒙娜·丽莎的画,虽然都未曾亲眼看到过,但是因为它是众所周知的,所以在谈话中可用「あれ」。不过,在谈及听话人不知道的画时,就要用「それ」了。

使用「あれ」的频率,与说话人和听话人具有的共同认识的量成正比。因此,在家庭成员之间或同事之间的谈话中使用的频率就高。也正是因为如此,夫妻共同生活的时间越长,在他们之间使用「あれ」的次数也就越多。如果是婚姻生活美满的一对夫妻,丈夫只要对妻子说一声「あれを持ってきて」(把那个拿来),妻子定会准确无误地把丈夫所要的东西拿来。



2 ああ,そうか……そうですか

一天下午,勒纳先生向冈田先生解释一项自己拟定的计划。这项计划很复杂,不太容易理解。冈田先生听完之后,停了一会儿才说:「ああ,そうか……そうですか」。好像是勉强明白了。勒纳先生不理解冈田先生为什么说了两个「そう」,并且还改变了表达方式。他记得日语老师曾经明确地说过,绝不能同时混合使用敬体(です・ます)和简体。

冈田先生说的是敬体,因为句子是以「です」结尾的,前面说的「そうか」是自言自语。他先是不知不觉地道出了自己的内心活动,但马上又改口说了「そうですか」。

这样的变化,经常在两个对话人之间的关系尚未达到可以使用简体的亲密程度,也不便使用十分礼貌的表达方式的情况下出现。在短暂的瞬间使用简体可以增添亲密感,这就像偶尔宽松一下衣服,让人看一下平时看不到的一面一样,具有特殊效果。另外,这种变化还较多出现在集中注意力(或者作出集中注意力的样子)听人讲话时。冈田先生说「そうか」,意在表示:你解释得很圆满,我完全明白了,很高兴。当一个人全神贯注地进入谈话意境时,他是不可能考虑选择礼貌的措词的。在相敬如宾的谈话中,常常插入「ああ,そうか」、「あ

あ,そういうわけか」或「なるほどねえ」之类的话,道理也在于此。

在导入这种变化时,必须用完全不同的语调来说简体部分,或是把句尾处的语调一下子降下来,或是用较低的声音来说它。如果采用与其它部分相同的语调来说,就会给人以唐突或不礼貌的感觉。

面对众人讲演时,如果时常有意识地加入这种变化,可以收到新鲜的、一掠即逝的特殊效果。



3 相づち

一天，勒纳先生在与房东松本太太聊天时，谈到了自己最近外出旅行的事。勒纳先生刚刚说起「先週海へ行ったら……」(上周去海滨……)，松本太太马上就说：「ええ，ええ」。勒纳先生对这种意料之外的答话感到很奇怪，但他又继续说：「水はきれいだったんですが……」(水很清澈……)。这时，松本太太又插话说：「そうですか」。勒纳先生没有理会她，又加重语气说：「人が大勢(おおぜい)で……」(人很多……)。「そうですね」，松本太太又在表示赞同。勒纳先生想，如此不断地插话，大概是在说自己的日语讲得不好，不愿意听下去了。因此，他便草草结束了谈话。

日本人在听别人讲话时，习惯以「はい」、「ええ」、「そうですか」和「そうですね」等词语随声附和。其意在暗示对方：我在认真地听着，请继续讲下去。听话人若不如此接一下话碴儿，说话人心里反而会觉得不安。

就日本人的感觉来看，谈话的进展与变化并非只是说话人自己的事，而需要听话人也加入进来一起促成。有时，甚至会出现，说话人还没把话讲完听话人就插话附和的奇怪现象。说话人和听话人成为一体创造谈话气氛的现象，应该用一条

线来表示,而绝非两条线。欧美人则完全不同,他们认为沉默至对方把话讲完而不「相(あい)づち」是一种礼貌的表示。

